



- ・愛川町立愛川中原中学校
- ・愛川町角田 210
- ・TEL (286) 2710
- ・発行責任者 中村 正
- ・編集責任者 波塚 浩司
- ・2016. 3. 11 (NO11)

《 4月の行事予定 》

- ・4月 5日 (火) 着任式・始業式・入学式
- ・4月 6日 (水) 離任式・対面式・生徒会説明会
- ・4月19日 (火) 3年全国学力・学習状況調査
- ・4月22日 (金) 授業参観・学級懇談会・PTA総会・部活動保護者会
- ・4月26日 (火)・27日 (水)・28日 (木) 5月2日 (月) 家庭訪問

「卒業を迎えるにあたって～卒業生のみなさんへ」三学年主任 米澤 明範

3月15日、本校では30回目の卒業証書授与式を迎えます。本年度は開校30周年という年であり、記念する取り組みをいくつか行ってきましたが、この節目の年に3年生のみなさんと一緒にこの式を迎えられることにとても感慨深い気持ちでいます。

私自身初めての学年主任という立場で2年間みなさんと過ごしてきましたが、日常での生活や授業、行事を経る中で、たくさんの思い出をもらうことができました。振り返ってみると、この学年だからこそできたこと、乗り越えられてきたと感じる場面が多々ありました。特に立志式や文化発表会等で見せてくれた集団のパワーは、この学年の誇れるものであり、後輩への手本となってくれた財産だったと思います。

さて、義務教育の9年間を終え、4月からそれぞれの進む道での生活が始まります。私の高校時代、卒業時のクラス文集にある先生（数学の先生でした）が寄せてくださったメッセージに、「人として生まれたからには学び続けなくてははいけません。学ぶのをやめるのは死ぬときです。」というものがありません。もう30年も前のことですが、今でも時折この言葉を思い出し、自分を鼓舞することがあります。15歳のみなさんはまだまだこれから伸びていく多くの可能性を秘めた人たちです。たくさんの人と出会い、たくさんの本を読み、いろいろな所へ行って見聞を深め、自己を磨いていってください。

また、みなさんが過ごしてきた年月は、家族、クラスメイト、部活の仲間、地域の方、先生方等々、周りの多くの人たちに支えられての15年間です。感謝の気持ちを忘れず、直接の恩返しでなくても、何かの機会にみなさんが周りの人たちを手助けする側にぜひまわってください。

卒業おめでとうございます。2年間ありがとうございます。みなさんの今後の活躍に期待しています。

「自分が知らない自分」 教育相談コーディネーター 土田正志

自分ってこんなかなって「自分で思っている自分」。そして、「自分は知らないが他人が知っている自分」。子どもたちの持っている良さ、素晴らしさに気づき、それを子どもたちに伝えてあげる。そうすると子どもたちの「自分」が豊かになっていきます。家庭で、学校で、地域でおとなが子どもたちの「自分」を豊かにしていくような声かけをたくさんしてあげたいですね。

立志式への思い、決意の力 立志式担当 2学年職員 大柳瑞輝

14歳の誓いの言葉（一部抜粋）

**何事にも積極的に取り組み、あきらめず最後までやりとげます。
仲間を認め、思いやりの心を持ち、安心して過ごせる学校を創ります。
自分達の可能性を信じ、全力で挑戦し続けます。**

今年も2月5日に愛川町文化会館にて立志式が行われました。

本校の2年生は立志式を迎えるにあたって、「大人」について考えました。みんなそれぞれ自分たちが想像する「大人」の姿をめざして、今の自分たちが何をすべきかを見つめ直す時間になりました。

2年生一人一人が思い描くになりたい自分、そして自分たちが最上級生として学校を支えるという決意のもと、誓いの言葉が作られました。3学期になり、学年合唱の「翼をひろげて」とともに、本格的な練習が始まりました。練習を重ねるにつれて、2年生の中で次第に立志式に対する気持ちも高まり、合唱も素晴らしいものになりました。文化会館の大きな舞台上で堂々と、自分たちが立てた誓いを述べ、それぞれの決意を胸に力強く歌う2年生の姿は、観覧に来られた保護者の方々、そして職員にも大きな感動を与えてくれました。

次は自分たちが最上級生になる番です。その素晴らしい底力で、学校をリードしていくと共に、これからのそれぞれの未来へ、邁進していってください。

